

技術講演会 『トンネル分野のDX最前線』

令和5年11月28日(火) 13:30~17:20

ZOOMウェビナーによるライブ開催 (500名 申込み順受付)

基調講演 13:30~14:15

DX時代の新しい建設産業に向けて

講師：建山 和由 氏
立命館大学総合科学技術研究
機構教授

【講演概要】国土交通省はi-Constructionを2016年にスタートさせ、ICTの導入による生産性の画期的な改善を主要な施策の一つに据えた。社会全体がデジタル技術を活用して大きく変貌していこうというDXが動き出している中で、本講演ではDX時代の建設産業のあり方を紹介する。

【講師紹介】博士(工学)
京都大学工学部助教授、立命館大学理工学部 教授等を経て現職
国土交通省ICT導入協議会議長

施策動向 14:15~15:00

国土交通省の進めるインフラ分野のDX

講師：森下 博之 氏
国土交通省大臣官房参事官
(イノベーション)

【講演概要】これまで取り組んできたi-Constructionの取組みを中核としつつ、データやデジタル技術を活用して、インフラ全体についての生産性向上、省人化、働き方改革などの実現に向けて、現在、国土交通省が進めている「インフラ分野のDX」の取組みを紹介する。

【講師紹介】博士(工学)、技術士(建設部門)
平成6年建設省(現国土交通省)入省 道路局国道・技術課技術企画室長、九州地方整備局企画部長等を経て現職

技術紹介 15:10~17:20 (15分×8技術)

(小休止10分含む)

技術紹介1

施工管理支援システム「T-iDigital@Field」における山岳トンネル版アプリの紹介 大成建設(株)

技術紹介2

国内初となるドリルジャンボの遠隔操作技術を活用したICT施工 (株)安藤・間

技術紹介3

画像解析AIを用いた労働生産性向上と材料ロス低減の取り組み 清水建設(株)

技術紹介4

山岳トンネルでの3次元トンネル切羽亀裂解析システムの開発について 鉄建建設(株)

技術紹介5

全自動ドローンによる遠隔モニタリング・3Dモデリングシステム 飛島建設(株)

技術紹介6

MR技術を活用したトンネル維持管理システム(トンネルMR)の開発 (株)鴻池組

技術紹介7

OGENTSを用いたシールド機の自動方向制御 (株)大林組

技術紹介8

シールド工事におけるAI方向予測システム (株)奥村組

聴講方法

※ 後日、オンデマンドで再配信する予定です。

・聴講申込みは、本会ウェブサイト の申込みフォームからお願いします。

<https://www.japan-tunnel.org/r51128dxform>

・聴講のためのURLは、お申込み時にメールで連絡します。

・聴講者にはMicrosoft Forms を利用したアンケートを実施します。ご協力をお願いします。



詳しくはこちらから